スカイオーシャン・コアラップ （安定型／成長型） 2016年1月20日

新たな投資対象ファンドについて

「スカイオーシャン・コアラップ（安定型）／（成長型）」は、現在の市場環境を鑑みて、ヘッジファンド資産に4ファンドを新たに組み入れることとしました。本レポートでは、その新たな投資対象ファンドについてご紹介します。

ポートフォリオの見直しについて

◆ ポートフォリオ見直しの背景について

歴史的な超低金利政策から徐々に出口へと向かう局面では、不安定な相場展開が想定されます。そのような市場環境においてもパフォーマンスを安定推移させるためには、ヘッジファンド資産における下振れリスクの抑制機能の強化がより重要になると考えています。下振れリスクの抑制が期待できるファンドや、既存組み入れファンドとのパフォーマンス連動性が低いファンドなどを組み入れることで、ヘッジファンド資産の運用効率の向上やファンド全体のパフォーマンスの安定性を高めることを狙って見直しを実施しました。

◆ ポートフォリオへの効果について

既存組み入れファンドとは異なる投資対象や運用戦略・運用手法などを内包した新たなファンドを投資対象に加えることで、ファンド全体のリスクを低減できるものと考えています。また、多様な収益機会を確保することでリターンの向上を期待できるものと考えています。

今回のポートフォリオの見直しによって「スカイオーシャン・コアラップ（安定型/成長型）」のコンセプトである資産を“増やす”、“守る”、“見直す”を効果的にバランスよく実現することにつながると考えています。

◆ ヘッジファンド資産の投資対象ファンド

ポートフォリオ見直し後のヘッジファンド資産に含まれる各投資対象ファンドの配分比率は以下の通りです。

（投資対象ファンドの目標配分比率は2016年1月20日時点のものであり、適宜見直しを行います。）

			スカイオーシャン・コアラップ 安定型			スカイオーシャン・コアラップ 成長型		
	ファンド名	運用会社（実質的な運用会社）	変更前	変更後	変化	変更前	変更後	変化
	TCAファンド（適格機関投資家専用）	三井住友トラスト・アセットマネジメント	4.0%	4.0%	0.0%	3.0%	3.0%	0.0%
	FOFs用FRM シグマ・リンク・ファンドS （適格機関投資家専用）	三井住友トラスト・アセットマネジメント（FRM インベストメントマネジメント）	4.0%	2.0%	-2.0%	3.0%	1.5%	-1.5%
	ヘッジファンド・リターン・ターゲット ファンド・為替ヘッジあり（適格機関投資家専用）	BNPパリバ インベストメント・パートナーズ	8.0%	6.0%	-2.0%	6.0%	4.5%	-1.5%
	Global Absolute Return Strategies Fund – Class D[A, H, JPY]	スタンダード・ライフ・インベストメンツ	8.0%	8.0%	0.0%	6.0%	6.0%	0.0%
	FOFs用 FRM ダイバーシファイド リンク・ファンドS （適格機関投資家専用）	三井住友トラスト・アセットマネジメント（FRM インベストメントマネジメント）	12.0%	8.0%	-4.0%	9.0%	6.0%	-3.0%
	BlueBay Investment Grade Absolute Return Bond Fund – クラスS-JPY	ﾌﾞﾙｰﾍﾞｲ・ﾌｧﾝｽﾞ・ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ・ｶﾝﾊﾟﾆｰ・ｴｽｴｰ（ﾌﾞﾙｰﾍﾞｲ・ｱｾｯﾄ・ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ・ｴﾙｴﾙﾋﾟｰ）	4.0%	4.0%	0.0%	3.0%	3.0%	0.0%
新規組み入れ	**FOFs用KIM マルチストラテジー リンクファンドS （適格機関投資家専用）**	**三井住友トラスト・アセットマネジメント（ｶｲﾛｽ・ｲﾝﾍﾞｽﾄﾒﾝﾄ・ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ・ﾘﾐﾃｯﾄﾞ）**	-	**2.0%**	**2.0%**	-	**1.5%**	**1.5%**
新規組み入れ	**FOFs用ピクテ マルチストラテジー リンクファンドS （適格機関投資家専用）**	**三井住友トラスト・アセットマネジメント（ピクテ・アセット・マネジメント）**	-	**2.0%**	**2.0%**	-	**1.5%**	**1.5%**
新規組み入れ	**FOFs用MAN AHL ダイバーシファイド リンク ファンドS （適格機関投資家専用）**	**三井住友トラスト・アセットマネジメント（AHL パートナーズ エルエルピー）**	-	**2.0%**	**2.0%**	-	**1.5%**	**1.5%**
新規組み入れ	**マルチ・ストラテジー・ファンド（適格機関投資家専用）**	**三井住友トラスト・アセットマネジメント**	-	**2.0%**	**2.0%**	-	**1.5%**	**1.5%**

当資料はスカイオーシャン・アセットマネジメントが作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料のお取り扱いについては最終ページをご覧ください。

スカイオーシャン・コアラップ （安定型／成長型）

2016年1月20日

FOFs用KIM マルチストラテジー リンクファンドS（適格機関投資家専用）

ファンドの特色

透明性・流動性を重視した選定により、比較的小規模かつ設定間もないファンドへ厳選して投資

1 優秀なマネジャーへの厳選投資

- 大手運用会社において新規設定されるファンド、または大手運用会社から独立する優秀なマネジャーが新たに設定するファンドなどに積極的に投資
- 比較的小規模かつ設定間もないファンドに投資することで運用コストを低く抑えるなどの先行メリットを享受

2 ファンドの機動的な入れ替え

- 投資対象ファンドの「旬」を見極め、機動的にファンドを入れ替え
- 業界におけるネットワークと年2,400超＊1のマネジャー面談を通じて優良なマネジャーのファンド新規設定情報を発掘

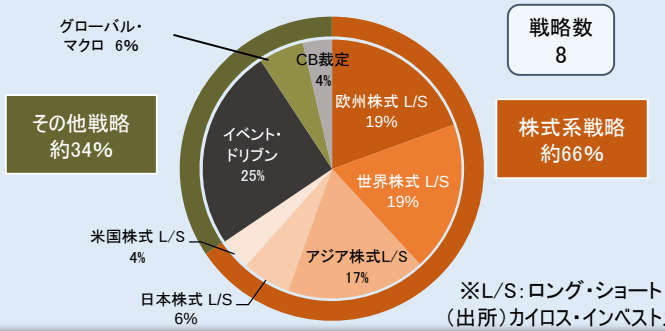
＊1：2014年実績

3 透明性・流動性を重視したマネジャー選択

- 複雑な運用戦略を避け、透明性・流動性が高いファンドを選好
- 地域分散などでリスク管理を行い、ファンド全体のリスクを抑制

※主としてゴールドマン・サックス・インターナショナルによって設立された海外籍特別目的会社の発行する円建債券に投資し、カイロス・インベストメント・マネジメント・リミテッドが運用する外国投資信託証券「スミ・カイロス・マルチ・ストラテジー・ファンド」の基準価額の値動きに概ね連動する投資成果を目指します。

≪戦略的配分比率≫（2015年11月末現在）



※L/S：ロング・ショート

（出所）カイロス・インベストメント・マネジメント社

【カイロス・インベストメント・マネジメント・リミテッドについて】

KAIROS

- 1999年にイタリア(ミラノ市)で設立されたファンド・オブ・ヘッジファンズを含むヘッジファンドの運用会社、カイロス・グループの英国法人です。
- 独自の調査に基づき、世界に数多くあるヘッジファンドの中から、定量分析や定性判断をもとに、実績のあるマネジャーが運用する高い流動性と透明性を有するファンドに投資してファンド・オブ・ヘッジファンズのポートフォリオを構築し、投資家に提供しています。

FOFs用ピクテ マルチストラテジー リンクファンドS（適格機関投資家専用）

ファンドの特色

市場環境に左右されにくい自社の個別運用戦略を組み合わせ、安定的な収益の獲得を目指す

1 バランスマルチ戦略

- 世界の株式、債券、為替等の多様な資産に対し、さまざまな投資手法を組み合わせて運用（バランスマルチ戦略）
- 自社の個別運用戦略の中から分散効果の高い戦略を組み合わせ

2 市場環境に左右されにくい運用

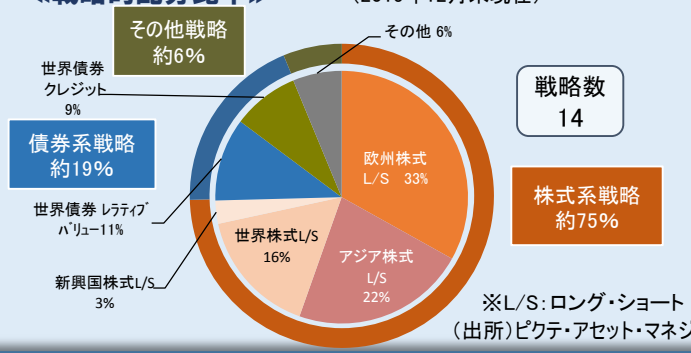
- ロング・ショート戦略、レラティブバリュー戦略など市場に左右されにくい戦略を中心に組み入れることで、安定した収益獲得を目指す

3 自社の運用戦略のみに投資

- 自社の運用戦略のみに投資することから、市場環境に応じた迅速な対応が可能
- 市場急変時にもポートフォリオ全体で機動的に対応

※主としてゴールドマン・サックス・インターナショナルによって設立された海外籍特別目的会社の発行する円建債券に投資し、ピクテ・アセット・マネジメント エスエイ、ピクテ・アセット・マネジメント リミテッド、ピクテ・アセット・マネジメント（シンガポール）、ピクテ・アセット・マネジメント（香港）が運用する外国投資信託証券「ピクテ・トータルリターン・ディバーシファイド・アルファ」の基準価額の値動きに概ね連動する投資成果を目指します。

≪戦略的配分比率≫（2015年12月末現在）



※L/S：ロング・ショート

（出所）ピクテ・アセット・マネジメント社

【ピクテ・アセット・マネジメントについて】 PICTET

- 世界で最も歴史のある金融グループのひとつであるピクテ・グループの資産運用会社です。
- 世界17都市に拠点を擁し、投資信託の設定・運用および年金や機関投資家向け資産運用ビジネスを展開しています。

ピクテ・アセット・マネジメント エスエイ
（拠点：スイス、ジュネーブ、主な運用：スイス株式、テーマ型株式、グローバルおよび地域債券、バランス型、株式および債券の絶対リターン運用、クオンツ運用）
ピクテ・アセット・マネジメント リミテッド
（拠点：英国、ロンドン 主な運用：先進国株式、新興国債券および株式運用）
ピクテ・アセット・マネジメント（シンガポール）
（拠点：シンガポール 主な運用：新興国債券、アジア株式の絶対リターン運用）
ピクテ・アセット・マネジメント（香港）
（拠点：香港 主な運用：中国株式および債券、中国株式の絶対リターン運用）

当資料はスカイオーシャン・アセットマネジメントが作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料のお取り扱いについては最終ページをご覧ください。

※各ファンドの戦略的配分比率は現金等を除きます。また、端数処理の関係合計値が100%とならない場合があります。
※資金動向、市況動向等によって、上記の運用ができない場合があります。

スカイオーシャン・コアラップ （安定型／成長型）

2016年1月20日

FOFs用MAN AHL ダイバーシファイドリンクファンドS(適格機関投資家専用)

ファンドの特色

世界の様々な市場を対象に、システム運用によるトレンド戦略で、市場の上昇局面だけでなく下落局面でも収益の獲得を目指す

1 トレンド戦略

- 「トレンド戦略」により、市場の特定の方向性に着目した「買い」や「売り」を行うことで、市場の上昇局面だけでなく下落局面でも収益の獲得を目指す

2 幅広い投資対象

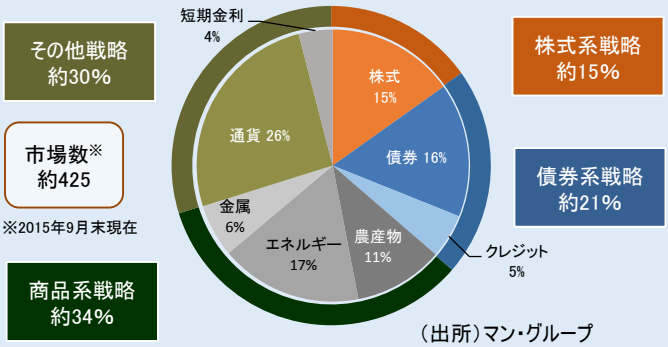
- 世界各国の株式、債券、金利、商品、為替等の先物取引などを投資対象とし、幅広く収益機会を追求

3 システム運用

- さまざまな市場データ、マクロ経済データなどの判断要素を組み込んだ定量分析モデルを用いて市場動向を予測し、コンピュータが投資判断

※主としてUBS AG ロンドン支店が組成を取りまとめた海外籍特別目的会社の発行する円建債券に投資しAHLパートナーズ エルエルピーが運用する外国投資信託証券「Man AHL Diversified (Cayman) Ltd 」の基準価額の値動きに概ね連動する投資成果を目指します。

≪戦略的配分比率≫ （2015年11月末現在）



（出所）マン・グループ

【マン・グループ/AHLについて】

- マン・グループは、1783年創業の大手オルタナティブ運用会社。マネージド・フューチャーズ戦略のAHL、シングル・マネジャー戦略のGLG、ファンドオブファンズ戦略のFRM、株式の定量分析戦略のNumericの4つの中核運用部門を展開しています。
- AHLは、英国ロンドンに本社を置き、定量分析戦略のパイオニアとして25年を超える運用実績があります。

マルチ・ストラテジー・ファンド(適格機関投資家専用)

ファンドの特色

多様な戦略構成と独自の下振れリスク管理によって高い運用効率を目指すマルチ戦略のファンド

1 多様な戦略構成

- 世界の株式および債券などの多様な資産に対して、さまざまな投資手法・投資戦略を活用した投資を行い、幅広く収益機会を追求

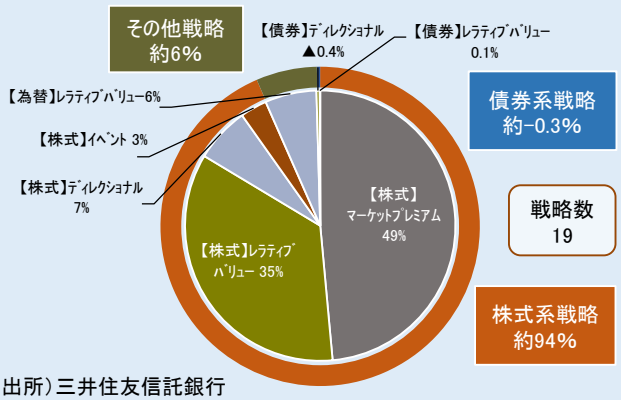
2 市場環境に左右されにくい運用

- ロング・ショート戦略、レラティブバリュー戦略など市場環境に左右されにくい戦略を中心に組み入れ、最大下落率を一定の範囲内に抑えるよう厳格なリスク管理を行うことで、安定した収益獲得を目指す

3 三井住友トラスト・グループの運用戦略のみに投資

- 三井住友トラスト・グループのリサーチ情報と運用スキルを結集した自社の運用戦略のみに投資することから、市場環境に応じた機動的な対応が可能

≪戦略的配分比率≫ （2015年12月末現在）



（出所）三井住友信託銀行

厳格なリスク管理のもと、効果的な戦略配分や機動的な戦略入れ替えを実施することで、収益の安定化を目指します。

- マーケットプレミアム戦略：中長期的に投資魅力があると思われる市場に投資して、市場の上昇による収益の獲得を目指す
- ディレクショナル戦略：投資対象資産の中長期的なトレンドを捉え、市場の下落時もショートポジションを取ることで収益獲得を目指す
- イベント戦略：決算などの個別企業のイベントに対する投資家の過剰反応等による価格の変動を捉えて収益の獲得を目指す
- レラティブ・バリュー戦略：投資対象間の「価格差の縮小もしくは拡大」を収益源泉とし、市場動向に左右されない安定的な収益の積み上げを図る

※上記は運用戦略の一例であり、必ずこれらの戦略を活用することを保証するものではありません。

当資料はスカイオーシャン・アセットマネジメントが作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料のお取り扱いについては最終ページをご覧ください。

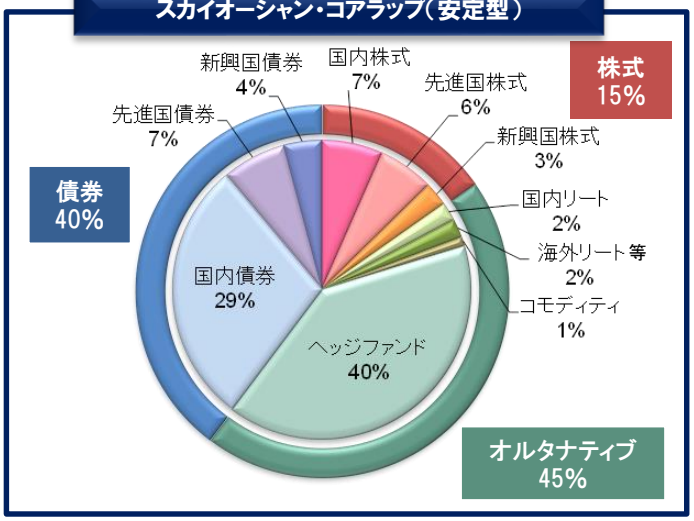
※各ファンドの戦略的配分比率は現金等を除きます。また、端数処理の関係合計値が100%とならない場合があります。
※資金動向、市況動向等によって、上記の運用ができない場合があります。

スカイオーシャン・コアラップ （安定型／成長型）

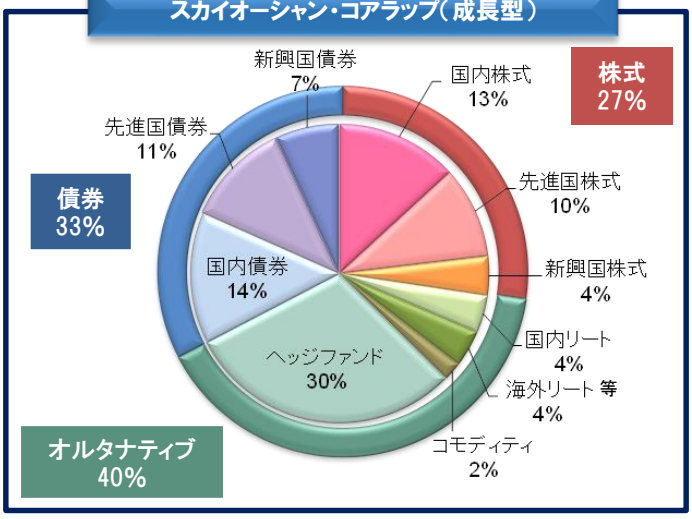
2016年1月20日

目標資産配分比率 （2016年1月20日現在）

スカイオーシャン・コアラップ（安定型）



スカイオーシャン・コアラップ（成長型）



※「安定型」とは元本保証を意味するものではなく、「成長型」と比較して安定的な運用を目指すファンドであることを意味しています。
※海外リート等（安定型：2%、成長型：4%）には、MLPファンド（安定型：0.7%、成長型：1.3%）の値を含みます。国内債券（安定型：29%、成長型：14%）には、国内債券の代替資産としてみなした、為替ヘッジを行うことで為替変動リスクの低減を図る世界債券ファンド（安定型：11.5%、成長型：5.7%）およびバンクローンファンド（安定型：7.2%、成長型：3.6%）の値も含みます。先進国債券（安定型：7%、成長型：11%）には、一部を新興国債券に投資するファンド（安定型：1.7%、成長型：2.8%）の値も含みます。配分比率は、端数処理の関係で合計値が100%とならない場合があります。また、変化幅は端数処理の関係で数値が異なる場合があります。

◆ ポートフォリオ見直し後の投資対象ファンドの目標配分比率

資産名	投資対象ファンド	スカイオーシャン・コアラップ	
		比率（安定型）	比率（成長型）
国内株式	FOFs用 JPX日経インデックス400ファンドS（適格機関投資家専用）	4.0%	7.9%
	FOFs用日本株配当ファンドS（適格機関投資家専用）	0.7%	1.3%
	FOFs用国内株式エンハンスト運用戦略ファンド（適格機関投資家専用）	2.0%	4.0%
国内債券	FOFs用国内債券インデックス・ファンドS（適格機関投資家専用）	7.2%	3.6%
	FOFs用 日本物価連動国債ファンドS（適格機関投資家専用）	2.9%	1.4%
	FOFs用世界ハイインカム入替戦略ファンドS（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）	11.5%	5.7%
	HYFI Loan Fund-JPY-USDクラス	7.2%	3.6%
先進国株式	FOFs用外国株式インデックス・ファンドS（適格機関投資家専用）	6.0%	9.9%
新興国株式	FOFs用新興国株式セレクト・ファンドS（適格機関投資家専用）	2.6%	4.3%
先進国債券	FOFs用外国債券インデックス・ファンドS（適格機関投資家専用）	5.3%	8.7%
	大和住銀/ウエリントン・ワールド・ボンド（適格機関投資家専用）	1.7%	2.8%
新興国債券	FOFs用新興国債券セレクト・ファンドS（適格機関投資家専用）	4.2%	6.9%
国内リート	FOFs用J－REITインデックス・ファンドS（適格機関投資家専用）	2.0%	4.0%
海外リート等	FOFs用グローバルREITインデックス・ファンドS（適格機関投資家専用）	1.3%	2.7%
	FOFs用MLPインデックスファンド（適格機関投資家専用）	0.7%	1.3%
コモディティ	FOFs用グローバル・コモディティ（米ドル建て）・ファンドS（適格機関投資家専用）	1.0%	2.0%
ヘッジファンド	FOFs用FRMシグマ・リンク・ファンドS（適格機関投資家専用）	2.0%	1.5%
	TCAファンド（適格機関投資家専用）	4.0%	3.0%
	FOFs用 FRM ダイバーシファイド・リンク・ファンドS（適格機関投資家専用）	8.0%	6.0%
	ヘッジファンド・リターン・ターゲットファンド・為替ヘッジあり（適格機関投資家専用）	6.0%	4.5%
	Global Absolute Return Strategies Fund-Class D AHJPY	8.0%	6.0%
	BlueBay Investment Grade Absolute Return Bond Fund – クラスS-JPY	4.0%	3.0%
	FOFs用KIM マルチストラテジーリンクファンドS(適格機関投資家専用)	2.0%	1.5%
	FOFs用ピクテ マルチストラテジー リンクファンドS(適格機関投資家専用)	2.0%	1.5%
	マルチ・ストラテジー・ファンド（適格機関投資家専用）	2.0%	1.5%
	FOFs用MAN AHL ダイバーシファイド リンクファンドS(適格機関投資家専用)	2.0%	1.5%

当資料はスカイオーシャン・アセットマネジメントが作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料のお取り扱いについては最終ページをご覧ください。

ファンドの投資リスク

ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、全て投資者の皆さまに帰属します。投資信託は預貯金と異なります。

株価変動リスク、金利変動リスク、リートの価格変動リスク、MLPの価格変動リスク、商品(コモディティ)の価格変動リスク、為替変動リスク、信用リスク、流動性リスク、カントリーリスク、資産等の選定・配分に係るリスク、ヘッジファンドの運用手法に係るリスク、仕組み債券に係るリスク、ブローカーの信用リスク

※基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

▼その他の留意点

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

ご購入の際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

お申し込みメモ

信託期間	無期限(2015年5月26日設定)
決算日	毎年7月10日(休業日の場合は翌営業日)です。 ただし、初回決算日は2016年7月11日です。
収益分配	年1回の決算時に委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配をおこなわないことがあります。分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益等の全額とします。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
購入単位	販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌々営業日の基準価額とします。(基準価額は1万口当たりで表示しています。)
換金単位	販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の翌々営業日の基準価額とします。
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して7営業目目からお支払いします。
申込締切時間	原則として、販売会社の営業日の午後3時までとします。
購入・換金申込受付不可日	申込日当日が次のいずれかの場合は、購入・換金のお申し込みを受け付けないものとします。 (休業日については、委託会社または販売会社にお問い合わせください。) ・ニューヨーク証券取引所の休業日 ・ロンドン証券取引所の休業日 ・ニューヨークの銀行休業日 ・ロンドンの銀行休業日
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。

ファンドの費用

▼お客さまが直接的にご負担いただく費用

【購入時】 購入時手数料	購入価額に**3.24%(税抜3.0%)を上限**として販売会社が定める率を乗じて得た額とします。
【換金時】 信託財産留保額	**ありません。**

▼お客さまが間接的にご負担いただく費用

【保有期間中】 実質的な運用管理費用(信託報酬)	純資産総額に対して**年率1.55333%～1.86727%程度(税抜1.43827%～1.74472%程度)** 当ファンドは他のファンドを投資対象としています。したがって、当ファンドの運用管理費用**年率1.3608%(税抜1.26%)**に当ファンドの投資対象ファンドの運用管理費用**年率0.19253%～0.50647%程度(税抜0.17827%～0.48472%程度)**を加えた、お客さまが実質的に負担する運用管理費用を算出しています。ただし、この値は目安であり、投資対象ファンドの実際の組入状況により変動します。
【保有期間中】 その他の費用・手数料	監査費用、有価証券の売買・保管、信託事務にかかる諸費用、投資対象ファンドの解約に伴う信託財産留保額等をその都度(監査費用は日々)、ファンドが負担します。これらの費用は、運用状況等により変動するなどの理由により、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。また、上場投資信託は市場の需給により価格形成されるため、上場投資信託の費用は表示しておりません。

委託会社およびファンドの関係法人

● 委託会社　スカイオーシャン・アセットマネジメント株式会社　[ファンドの運用の指図]
　金融商品取引業者 : 関東財務局長(金商)第2831号　加入協会 : 一般社団法人投資信託協会
● 受託会社　三井住友信託銀行株式会社(再信託受託会社:日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)　[ファンドの財産の保管および管理]
● 販売会社　[募集・販売の取り扱い、目論見書・運用報告書の交付等]

商号等		加入協会
株式会社横浜銀行	登録金融機関 : 関東財務局長(登金)第36号	日本証券業協会 ・ 一般社団法人金融先物取引業協会
浜銀TT証券株式会社	金融商品取引業者 : 関東財務局長(金商)第1977号	日本証券業協会

＜ご留意事項＞ ◆ 当資料はスカイオーシャン・アセットマネジメントが作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。◆ ご購入のお申し込みの際は最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。◆ 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は、すべて投資者の皆さまに帰属します。◆ 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外で購入された場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。◆当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。◆ 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来の市場環境の変動等により運用方針等が変更される場合があります。◆ 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利はそれぞれの指数開発元もしくは公表元に帰属します。